

仙台市議会議員 いのまた由美 議会報告

ゆみコミ



発行:2021年3月 第4号

発行人:いのまた由美(太白区版)
〒982-0801
仙台市太白区八木山本町1丁目36-7
グランチェスタ八木山101

市議会トピックス

計33議案を審査

2020年9月4日から10月7日まで第3回定例会が開かれ、2019年度決算の認定や補正予算案等の議案審査をし、原案を可決・承認いたしました。一般会計決算では税收増は確保したものの交付金が減り、歳入の総額は5312億円余となりました。歳出は5240億円余で、結果として37億円余の黒字となり、財政調整基金へ19億円積立て、18億円余が次年度繰越となりました。特別会計、企業会計と合わせた総額は8年連続で1兆円超の約1兆607億円となりました。

新型コロナ対策に約44億円

今年度5度目となる一般会計補正予算では、新型コロナウイルス感染症対策として、ドライブスルーでPCR検査を行う費用の負担金など、計43億9,700万円が計上されました。一方、外出自粛などによる敬老

乗車証経費や定禅寺通活性化推進事業費、子育てのための施設利用給付費などの事務事業費や土木費の不用額などの減額措置により、トータルで28億2,200万円の補正が提案されました。その他の補正案では、小中学校のトイレ改修費の追加、学校エアコン整備費の追加などが計上されました。

また、企業会計では、コロナ禍で利用者が激減し収入減となった市バスと地下鉄事業に特別減収対策企業債で補填する

案、市立病院におけるコロナ感染症対策に携わる職員への慰労金の支給のための補正が計上されました。

新型コロナ対策に約44億円

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けて、2021年~23年度の財政見通しでは収支差が1,162億円と見込まれ、厳しい財政運営が強いられることは確実となっています。そのため、新年度予算編成に当たっては3%のマイナスシーリングがかけられることとなっています。



社民党仙台市議団は10月7日に郡和子仙台市長に対し、市政運営および2021年度予算要望書を提出しました。

女川原発2号機再稼働ストップを求めます

福島第一原発の事故後、東日本では原発はすべて停止し、「原発ゼロ」の状況が9年以上続いています。今年4月の地元紙調査では、「反対」61%、原発安全性「不安」74%、地元同意の範囲が「宮城県と県内全自治体」とすべきという声が60%にのぼっています。再稼働の是非を問う県民投票条例制定のために県内11万人以上の署名が集められ、知事に直接請求されましたが、条例案は県議会で2019年と2020年の二度も否決されました。宮城県議会は10月22日には女川町商工会が提出した早期再稼働を求める請願を賛成多数で採択しています。11月9日に県内市町村長会議、11日に立地自治体3者協議が行われ、知事は再稼働に「同意」の意向を示しました。

4千人以上の避難者を83か所の避難所で受け入れる計画です。避難経路阻害要因調査結果を参照すると、到着までに1週間以上かかるおそれがあります。避難所の感染症対策を取ると、受入可能人数も3~4割に減りますが、その変更対応もできていません。バスと自家用車での避難に必要な駐車場も

足りていません。いのまた由美は一般質問でこのような課題を明らかにしました。再稼働すると処分方法のない放射性廃棄物を増やすことになるという課題もあります。女川2号機の安全対策工事完了は2022年度とされています。再稼働は認めるべきではありません。



9月27日に「女川原発再稼働ストップ!みやぎ女性議員有志の会」が立ち上がりました。現職元職62名が賛同

6月市議会で「広域避難計画」問題を質す

「広域避難計画」の実効性は疑問です。仙台市は石巻市から4万人、東松島市から2万



今月の特集

2020年7月から10月までの、いのまた由美の議会発言の要旨です。

7月 健康福祉委員会

●生活困窮者自立支援

社会福祉協議会が窓口になっている生活福祉資金特例貸付の延長と、コロナ禍で居所を失う方への「住まいの確保緊急支援事業」が有効に機能するよう、障害や家族の問題、DVなど複合的な課題を抱えている方の支援との連携を。

●PCR検査

本市の積極的疫学調査において、無症状の方でも保健所の調査で必要と判断した場合PCR検査を実施している。検査を徹底して、陽性の方には隔離に協力していただくことが感染を広げない基本中の基本だと考える。感染した方が安心して穏やかに治療や療養をできることと、感染者のまわりの方も人権に配慮されること、そして検査を受ける方にもその後の見通しが立つような情報を提供することが大切だ。

8月 健康福祉委員会

●特別養護老人ホームの今後の整備

特養は入居者が負担する費用が他の施設サービス等と比べて低いことから、

将来の安心のために整備が必要。一方で、小規模多機能型などの地域密着の多様な介護サービスも選択肢として周知し、利用しやすくする後押しも必要だ。

9月 決算等審査特別委員会

●地域コミュニティ体力強化

町内会負担軽減と運営サポートを。

●協働まちづくり推進助成事業

●市民協働事業提案制度

●不登校児童生徒の対応

別室対応選任教諭による「ステーション」での取組を評価。小学校低学年の不登校に対応する人員を増やすべきだ。

ICT活用による不登校児童生徒の学習活動の出席扱いのガイドラインを伺う。不登校当事者や家族とも意見交換をするべきだ。

●夜間中学(教育機会確保)

多様な学びの場づくりを既に行っている民間団体との連携を。ニーズのさらなる調査や、ニーズを満たす検討を。

●生涯学習

不登校など義務教育の年齢に十分に学べなかった方を対象に、学びの機会を作り、社会的につなげていく支援としての「学び直し」の取組を求める。また、障害児・者の生涯学習の機会の確保を。

9月 健康福祉委員会

●子育て支援センター等のオンライン経費

子育て支援は対面の支援が最重要だが、コロナ禍での密室育児や孤立化をふせぐために、オンラインでつながること

を模索しながら実施している支援団体の取組を伝え、本市の協力や支援の検討を求めてきた。

●障害者や介助者のPCR検査や入院調整

介護従事者や保育従事者など、人の体に触れながらケアをしている仕事をしている方が、検査を受けやすいよう配慮するべきだ。

重い発達障害のあるお子さんと暮らしているシングルマザーから自分が感染したら子どもはどうなるのかと心配の声を聞いた。日常からご家族の負担軽減をはかる支援のさらなる充実が求められるが、新型コロナウイルスの入院調整に関しても個々の事情に最大限の配慮が必要だ。

10月 健康福祉委員会

●保健所の体制強化

受診調整班が対応可能な人数を超えた場合の応援体制や、各区でクラスターが発生した場合の応援体制は。

●無症状者の検査について

歓楽街で飲食店に従事する無症状の希望者を対象とした検査を実施したが、無症状のエッセンシャルワーカーを対象とした検査を行う考えは。

●産後ケア

コロナ禍で女性の自死数の割合や件数が増えている。産後うつや虐待に追い込まれることを防ぐ重要性がますます高まっている。産後ケア利用開始の手続きのオンライン化を。必要な方が申請しやすい周知を。産後ケア受託事業者の事務負担軽減を。

コロナ禍を生き延びるために

支援の現場で動いているNPOや市民団体等の方々の元へ足を運んで意見交換し、課題の把握に努めています。市民の方からいのまた由美にご相談をいただいた際に、公的機関だけでなく民間団体にもご協力をあおいで連携しています。



7月、8月「コロナ禍の休業・解雇・生活相談ホットライン(生存のためのコロナ対策ネットワーク)」に参加



7月、「フードバンク仙台(食糧配布)」「フードバンク仙台が新型コロナウイルスの影響で収入低下生活に困っている外国人・留学生対象に食糧支援に参加」



10月、仙台市生活自立・仕事相談センター(わんすてっぷ)ヒアリング



10月「女性のためのとまり木リカバリートレーニングセンター(しおり)を、女性用ケアハウス(ETS)仙台HIS田所長と訪問

仙台日赤病院/3病院統合問題

昨年12月に提出された宮城県立がんセンターの運営に関する有識者会議報告書を受ける形で、宮城県知事が8月に突然、同がんセンター、仙台赤十字病院、東北労災病院の統合・機能連携の検討を行うと発表しました。仙台赤十字病院は1982年に八木山に開院し、各診療科での医療はもちろん、周産期医療の中心として役割を発揮し、救急や地域包括ケアなど地域医療の拠点として機能を発揮してきました。

社民党仙台市議団は10月7日に市政運営要望として、3病院の連携・統廃合を中止するよう仙台市長から県に求めるよう、要望しました。

11月30日には、太白区選出の超党派の県議と市議で、仙台赤十字病院と宮城県知事に要請書を提出しました。



仙台赤十字病院を訪問し、市山院長に8名で要請しました



通学路・生活道路の安全対策

金剛沢小学校の西側交差点など通学路の安全対策の要望がPTAから出されていました。いのまた由美も、当該箇所は早急に安全対策が必要と考え区役所への相談を重ねてきました。5月に区役所・仙台南警察署・PTAの方々と現場確認をしながら相談した結果、横断歩道より奥にあった「止まれ」標識を停止線の位置へ移設、北東方向に「横断歩道」標識の新設、南東方向車道にドットライン標示、ガードレール修繕等が順次実施されました。



写真左：現場を確認しながら要望を伺い改善できることを相談しました
写真右：信号や「止まれ」のない横断歩道でも、歩行者がいたら一時停止してください。



市民協働 まちづくり推進

動物公園駅前ガーデン愛護会の駅前花壇づくりや、金剛沢緑地愛護協力会の「八木山テラス」構想等、住民主体の取組に参加させていただいています。駅前駐車場屋上の「八木山てっぺん広場」の活用推進も議会で提言してまいりましたが、地域の方々と区役所の協力で実施されています。10/25には坪沼産直市が開かれ盛況でした。



写真上：動物公園駅前ガーデン
写真下：八木山テラスの「竹くら」



地域経済応援

新型コロナの影響を受けた商店街の活性化を図るため、商品券事業の割増30%分と事務経費の一部を補助する制度が実施されました。商店街ごとの商品券は初めての取組なので、円滑に効果をあげられるよう、仙台市経済局・区役所等と連携を図りました。継続的な地域経済支援が必要です。



八木山中央商店会の商品券販売日のお手伝いをさせていただきました。



ポニー乗馬体験やトラクターとの綱引きなどのプログラムがありました

坪沼

11/3「ここが坪沼田舎の収穫祭」に伺いました。坪沼小学校跡地について、立地の魅力や強みを生かしつつ、住民の方々および仙台市全体にとって有効な活用を求めます。



通学路の安全対策等

湯の橋から北進して住宅街へ入り県道132号秋保温泉愛子線へつながる市道秋保町湯向幹線は、スピードを出す車が多く事故も発生していました。付近は小学校、児童館、保育所があるため安全対策の要望が町内会からも出されており、いのまた由美も昨年12月議会以降、求めてきました。今年度、湯元保育所前の防護柵、ポール、ドットライン、「止まれ」標識が新設されました。



写真左：湯元保育所前の防護柵
写真右：秋保総合支所にて、野生動物の被害状況や取組を伺いました

皆さまのお声をお聞かせください!

Blank lined area for reader feedback.

(例) 仙台市政・議会に対する要望やご意見、「ゆみコミ」の感想やご意見 など



FAXでも、ご意見お待ちしております!
FAX:022-797-7748



いのまた由美事務所
毎週火曜・木曜13時～16時
オープンしています!



いのまた由美事務所

仙台市太白区八木山本町1丁目36-7
グランチェスタ八木山101 〒982-0801
TEL・FAX. 022-797-7748
E-Mail▶ info@inomatayumi.fem.jp

いのまた由美 検索

facebookページ
InomataYuminowa

twitterアカウント名
@inomata_yumi

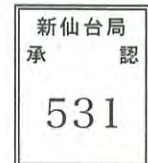
ご相談やご要望を承ります

9月30日に行政書士の吉田由香さん、市議会議員待遇者の大槻正俊さんにご協力いただき「市政・困りごと行政手続相談会」を実施しました。生活相談、ご要望やご提案、情報提供など、来所をいただいています。相談日に限らず、いのまた由美へのご意見ご要望ご相談など、ぜひお寄せください。



郵便はがき

料金受取人払郵便



差出有効期間
2022年10月
15日まで
(切手不要)

982-8790

仙台市議会議員
いのまた由美
行

仙台市太白区
八木山本町1-36-7-101



〒	(フリガナ)	年齢	オ
	〒□□□□□□□□		
メールアドレス			

いのまた由美 主な議員活動のルレキ

- 7月8日 「脱原発東北電力株主の会」等からの仙台市への要望に同行
- 9日 東仙台中学校にて別室登校の生徒のための「ステーション」を視察
- 12日 「深沼ビーチクリーン」に初参加
- 14日 交通政策調査特別委員会
- 16日 「仙台市いじめ等相談支援室エスケット」視察
- 19日 宮城県原爆死没者追悼平和祈念式典
- 21日 広報委員会・健康福祉委員会
- 25日 石巻市で、原発再稼働同意差止仮処分申立て等の勉強会
- 30~8月3日 仙台市議会 第2回臨時会
- 2日 女川町で、原発に反対する阿部美紀子議員と懇談
- 5日 上野山小学校の消毒ボランティアに参加
- 7日 八木山中央商店会の役員有志と、市内商店街の七夕飾り視察
- 8日 協同組合ジャパン・スローシネマ・ネットワーク 映画「あの日のオルガン」再開第一歩上映会
- 10日 「動物公園駅前ガーデン愛護会」総会
- 15日 8.15戦争を阻止する母親の平和行進
- 19日 脱原発仙台市民会議等の市民団体が仙台市長に要請書を提出する際に、同行
- 21日 健康福祉委員会
仙台市教職員組合女性部と仙台市議会女性議員の懇談会
- 23日 八木山中央商店会 割増商品券販売視察
- 24日 太白区育児サークル応援隊たい子さんの定例会ヒアリング
- 28日 不登校の子どもの居場所・学びの場について意見交換



若林区荒浜の「深沼海水浴場」は、仙台市唯一の海水浴場でしたが、3.11の津波により住むことができない地域になってしまいました。元住民の方などが、豊かな自然の魅力をいかした活性化の取組を継続しています。



「多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク」の方々をご案内して、仙台市教育委員会 教育相談課、仙台市適応指導センター「児童の社」、仙台市子供相談支援センター「ふれあい広場」を訪問しました。



- 31日 仙台市子供相談支援センター街頭指導視察
- 9月3日 仙台市ひきこもり支援センター/わたげ福祉会視察
- 4~10月7日 仙台市議会 第3回定例会
- 5日 秋保の野尻いぐす会運営の交流カフェ「ばんごころ」視察
- 6日 仙台市基本計画中間案説明会(秋保地区)に参加
- 10月4日 宍式参(いろは)横丁「仙台駆け込み寺」研修会
- 13日 「女性のためのとまり木・リカバリートレーニングセンターしおり」視察
- 16日 ともこ助産院視察 産後ケア意見交換
- 17日 キャブネット・みやぎ(子ども虐待防止ネットワーク・みやぎ)子ども虐待防止基礎講座
- 19日 通信制高校 星槎国際高校仙台学習センターを視察
- 21日 健康福祉委員会
- 23日 山形市内「みんなで語ろう!不登校・ひきこもりの会」参加
女性議員有志の会、仙台市長へ原発再稼働ストップの要請
- 27日 市制施行131周年記念式
- 28日 石炭火力発電所仙台パワーステーション操業差止訴訟判決報告会
- 29日 防災減災調査特別委員会



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため延期・縮小して実施されました。市議会議員待遇者の大槻正俊さんと出席しました。



『ゆみコミ』を郵送でお届けしている方へ、私の情報不足から、すでにお亡くなりになられた方や転居された方へも送付してしまうなど、ご迷惑をおかけしていることもございます。大変ご面倒をおかけいたしますが、訂正や不要など事務所へご連絡いただきますようお願い申し上げます。